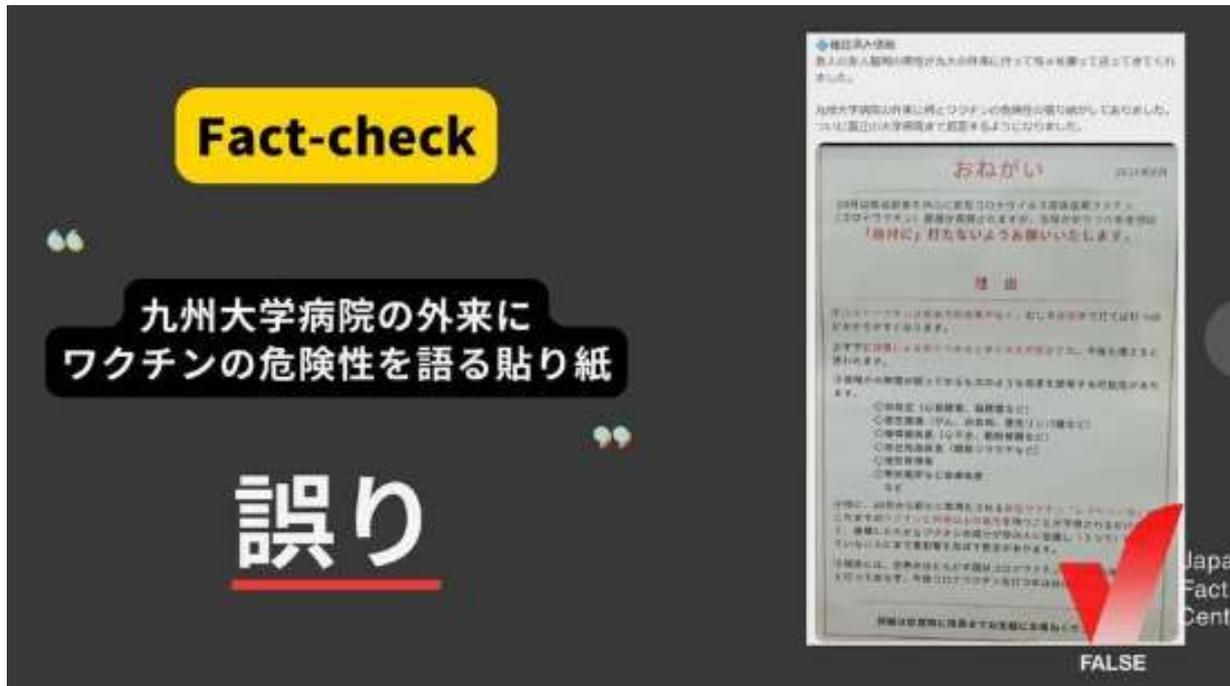


九州大学病院にワクチンの危険性を呼びかける張り紙？ 九大とは無関係な画像【ファクトチェック】

10/5 日本ファクトチェックセンター



福岡市にある九州大学病院に新型コロナワクチンの危険性を呼びかける張り紙があったと言説が拡散しましたが、誤りです。画像は徳島県の診療所が「院内掲示した」と述べており、九大病院は「当院とは一切関係がございません」と注意喚起をしています。

2024年10月2日、「九州大学病院の外来に何とワクチンの危険性の張り紙がしてありました。ついに国立の大学病院まで拒否するようになりました」という画像付き言説が拡散した。画像にはコロナワクチンを「絶対に打たないようお願いいたします」と書いている。

2024年10月4日現在、投稿は削除されている。2024年10月3日までに280回以上リポストされ、表示回数は47万回を超えていた。投稿には「デマはやめて下さい」「明らかなデマ」という指摘が多数ついていた。

検証過程

徳島の診療所「ウチの院内掲示」

添付された画像をGoogle レンズで検索すると、XなどのSNSで2024年8月ごろから多数拡散している。8月に拡散した言説には九州大学病院に掲示とは書かれていない。

画像の拡散をうけ、徳島県で診療所を営んでいるとするXアカウントが「実はコレ、ワタシが作ったウチの院内掲示です」と投稿している。

九州大学病院「一切関係ない」

九州大学病院は投稿の拡散をうけ、2024年10月2日にウェブサイトで「【注意喚起】新型コロナワクチン接種に関するビラについて」というページを公開し、以下のように注意喚起をしている。

当院に関係のない新型コロナワクチン接種に関するビラがSNS上に掲載されているとの報告を受けておりますが、ビラに記載されている情報は、当院とは一切関係がございません。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。九州大学病院長

判定

拡散した言説は2024年8月ごろに拡散した徳島の診療所のものと見られる張り紙を九州大学病院と関連付けて投稿したものだ。九州大学病院もウェブサイトで否定している。よって誤りと判定した。

あとがき

10月1日から65歳以上の高齢者を対象に新型コロナウイルスワクチンの定期接種が始まりました。今回から「レプリコンワクチン」と呼ばれる次世代型のmRNAワクチンが使われるようになりましたが、mRNAが体内で複製され強い免疫反応が得られることなどから不安を抱く人々がいます。そのため、このワクチンに対する偽・誤情報が多数拡散しています。ワクチンを接種する際は、公的機関の発信を確認するなど、正しい情報をもとに判断することが大切です。

検証：木山竣策 編集：宮本聖二、古田大輔

おねがい

2024年8月

10月以降高齢者を中心に新型コロナウイルス感染症用ワクチン（コロナワクチン）接種が再開されますが、当院かかりつけ患者様は「絶対に」打たないようお願いいたします。

理由

①コロナワクチンは感染予防効果がなく、むしろ逆効果で打てば打つほどかかりやすくなります。

②すでに接種による死亡であると多くの方が認定され、今後も増えると思われています。

③接種から時間が経ってからも次のような疾患を誘発する可能性があります。

- 血栓症（心筋梗塞、脳梗塞など）
- 悪性腫瘍（がん、白血病、悪性リンパ腫など）
- 循環器疾患（心不全、動脈解離など）
- 自己免疫疾患（関節リウマチなど）
- 慢性腎障害
- 帯状疱疹など皮膚疾患
など

④特に、10月から新たに実用化される新型ワクチン「レプリコン型」はこれまでのワクチンと同等以上の毒性を持つことが予想されるだけでなく、接種した人からワクチンの成分が他の人に伝播し（うつり）接種していない人にまで悪影響を及ぼす懸念があります。

⑤現実には、世界のほとんどの国はコロナワクチンを3回接種以降ほとんど打っておらず、今後コロナワクチンを打つのはほぼ日本だけです。

詳細は診察時に院長までお気軽に左尋ねください。